



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 マブチモーター株式会社

コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 伊豫田 忠人

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	79,653	24.3	6,970	54.4	11,775	73.7	8,743	109.5
24年12月期第3四半期	64,095	7.8	4,513	59.8	6,779	68.6	4,174	76.1

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 21,343百万円 (327.6%) 24年12月期第3四半期 4,991百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第3四半期	249.55	249.53
24年12月期第3四半期	119.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	215,198	199,174	92.5
24年12月期	196,702	181,372	92.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 199,144百万円 24年12月期 181,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
25年12月期	—	53.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	73.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年12月期期末配当金の内訳 特別配当 20円00銭

25年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 23円00銭

25年12月期期末配当金(予想)の内訳 特別配当 23円00銭、記念配当 20円00銭

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	103,000	20.8	7,800	54.4	11,300	7.5	8,000	25.3	228.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	37,875,881 株	24年12月期	39,875,881 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	2,831,440 株	24年12月期	4,840,007 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	35,037,246 株	24年12月期3Q	35,036,217 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)25年12月期3Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数101,500株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報等	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)における世界経済は、米国においては、設備投資や住宅投資が堅調に推移するとともに、個人消費も好調さを持続しました。欧州経済は低迷が続いたものの、主要国では回復の兆しが見え始めました。我が国経済は、円安による輸出、個人消費ともに大きな伸びは無いものの、緩やかな回復が続きました。新興国経済は、輸出の改善がありましたが、内需には地域差があり足踏みする状況となっております。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、米国及び新興国は好調とはいえ伸び悩みましたが、欧州にて底打ちが感じられました。家電機器・工具・玩具市場、精密・事務機器市場は、住宅関連の回復が続いた米国、及び新興国市場の拡大により好調に推移しました。一方、音響・映像機器市場は、市場規模の縮小が継続しております。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比3.2%の減少、金額では前年同期比24.4%の増加となりました。また、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間販売計画に対しましては、数量で0.4%下回り、金額では1.4%上回りました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は796億5千3百万円(前年同期比24.3%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は796億2百万円(前年同期比24.4%増)となっております。

営業利益につきましては、生産数量の減少により単位当たりの固定費負担が増加しましたが、当社製品の主要材料である銅・鋼材の相場の落ち着き、プロダクトミックスの改善、販売費及び一般管理費の抑制効果、並びに円安の影響もあり、当第3四半期の営業利益は69億7千万円(前年同期比54.4%増)となりました。経常利益は、当期中の円安進行により為替差益が前年よりも増加したことで営業外収支が改善し117億7千5百万円(前年同期比73.7%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は、海外生産子会社で固定資産処分損を計上したものの、前期に計上した投資有価証券売却損・評価損が当期は計上されなかったことで特別損益の収支が改善し115億7千6百万円(前年同期比97.0%増)となり、四半期純利益は87億4千3百万円(前年同期比109.5%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は482億4千7百万円(前年同期比32.4%増)と大幅に増加しました。小型電装用途であるミラー、ドアロック、エアコンダンパー用や、中大型となるパワーウインドウ、パワーシート、エレクトリックパーキングブレーキ用など全用途が好調に推移し、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

② 家電機器・工具・玩具市場

売上高は147億8千3百万円(前年同期比25.4%増)と大幅に増加しました。ヘアードライヤー、歯ブラシ、工具用が年末商戦に向けて好調に推移し、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

③ 精密・事務機器市場

売上高は99億9千7百万円(前年同期比12.4%増)と増加しました。インクジェットプリンター用は、新興国向け需要増、プロダクトミックスの改善と、円安の影響もあり増加しました。複写機・複合機(MFP)、レーザープリンター用は、既存製品、新製品ともに好調に推移し増加しました。

④ 音響・映像機器市場

売上高は65億7千2百万円(前年同期比4.2%減)と減少しました。DVDプレーヤー用は市場縮小が続き、カーCDプレーヤーは昨年並みに推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して184億9千6百万円増加し、2,151億9千8百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加117億7千3百万円、受取手形及び売掛金の増加44億8千9百万円、投資有価証券の減少30億8千万円などです。また、有形固定資産合計で35億6千2百万円増加しておりますが、これは主に海外子会社資産の円換算によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して6億9千4百万円増加し160億2千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の増加9億3千6百万円、従業員持株E S O P信託導入に伴う短期借入金の増加1億1千3百万円及び長期借入金の増加4億5千4百万円、構造改革引当金の減少6億9千9百万円、その他流動負債の減少11億9千6百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して178億2百万円増加し、1,991億7千4百万円となりました。その他有価証券評価差額金で19億9千2百万円の評価差額が増加し、為替換算調整勘定で106億7百万円の換算差損が減少しております。また自己株式の消却により利益剰余金と自己株式が同額(143億5千9百万円)減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

先進国においては、緩やかな回復を続けてきた米国経済に若干の不透明感が出てきている一方、停滞していた欧州経済には一部に回復の兆しが見え始めております。我が国経済は、円安・株高の現状レベルの持続による成長期待から回復基調が継続するものと思われれます。新興国経済は、伸長率が鈍化し低成長が継続するものと予想されま

す。
当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場が好調であることに加えて、家電機器・工具・玩具市場が北米向けの回復と新興国向けなどに安定的な需要が継続するものと見ており、その他の用途市場も含め今後の需要動向に大きな変動はないものと予想しております。

このような経営環境下、第3四半期までの実績も踏まえ、年間の売上高は、前回公表の予想(平成25年8月6日公表)どおり1,030億円(前年同期比20.8%増)に据え置いており、利益面でも予想の変更はありません。

なお、期末の配当予想につきましても前回予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,071	90,845
受取手形及び売掛金	14,381	18,871
有価証券	12,675	12,915
商品及び製品	14,030	14,677
仕掛品	1,055	1,307
原材料及び貯蔵品	5,391	5,609
繰延税金資産	751	932
その他	3,111	3,179
貸倒引当金	△79	△51
流動資産合計	130,390	148,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,422	43,301
減価償却累計額	△22,366	△24,132
建物及び構築物(純額)	16,055	19,168
機械装置及び運搬具	25,431	30,332
減価償却累計額	△14,088	△16,694
機械装置及び運搬具(純額)	11,343	13,638
工具、器具及び備品	10,899	12,127
減価償却累計額	△8,765	△9,587
工具、器具及び備品(純額)	2,134	2,539
土地	6,023	6,027
建設仮勘定	4,316	2,063
有形固定資産合計	39,874	43,437
無形固定資産		
731		841
投資その他の資産		
投資有価証券	24,349	21,268
長期貸付金	30	23
繰延税金資産	357	362
その他	1,002	1,009
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	25,705	22,630
固定資産合計	66,311	66,910
資産合計	196,702	215,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,028	4,964
短期借入金	—	113
未払法人税等	1,040	1,334
賞与引当金	209	572
役員賞与引当金	44	39
構造改革引当金	1,126	426
繰延税金負債	15	46
その他	6,551	5,354
流動負債合計	13,017	12,852
固定負債		
長期借入金	—	454
退職給付引当金	440	456
資産除去債務	15	15
繰延税金負債	1,586	1,884
その他	270	361
固定負債合計	2,312	3,171
負債合計	15,330	16,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	188,175	178,714
自己株式	△34,749	△20,115
株主資本合計	194,551	199,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	1,833
為替換算調整勘定	△13,020	△2,412
その他の包括利益累計額合計	△13,179	△579
新株予約権	—	29
純資産合計	181,372	199,174
負債純資産合計	196,702	215,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	64,095	79,653
売上原価	47,747	59,993
売上総利益	16,347	19,659
販売費及び一般管理費	11,834	12,689
営業利益	4,513	6,970
営業外収益		
受取利息	404	376
受取配当金	64	65
為替差益	1,046	3,556
スクラップ材料売却収入	757	811
その他	177	227
営業外収益合計	2,451	5,037
営業外費用		
株式関係費	34	32
控除対象外消費税等	76	91
その他	74	107
営業外費用合計	185	231
経常利益	6,779	11,775
特別利益		
固定資産処分益	3	5
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	3	19
特別損失		
固定資産処分損	46	219
臨時退職金	12	—
投資有価証券売却損	190	—
投資有価証券評価損	657	—
特別損失合計	906	219
税金等調整前四半期純利益	5,877	11,576
法人税等	1,702	2,832
少数株主損益調整前四半期純利益	4,174	8,743
四半期純利益	4,174	8,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,174	8,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	642	1,992
為替換算調整勘定	174	10,607
その他の包括利益合計	817	12,600
四半期包括利益	4,991	21,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,991	21,343
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の消却)

当社は、平成25年2月15日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ14,359百万円減少しております。

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却した株式の総数 | 2,000,000株 |
| (3) 消却実施日 | 平成25年2月22日 |

(自己株式の処分)

当社は、平成25年2月15日開催の取締役会において「従業員持株E S O P信託」の導入を決議し、平成25年6月6日付で従業員持株E S O P信託を対象とした第三者割当により普通株式111,300株の処分を行いました。これにより、利益剰余金が231百万円減少、自己株式が799百万円減少しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日において当該信託が所有する当社株式(株式数101,500株、帳簿価額517百万円)については、自己株式として計上しております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,762	39,103	6,552	10,676	64,095	—	64,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,918	41,686	—	—	82,604	△82,604	—
計	48,680	80,790	6,552	10,676	146,700	△82,604	64,095
セグメント利益又は 損失(△)	△1,223	4,119	421	706	4,024	489	4,513

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益又は損失の調整額489百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,503	48,682	8,714	14,753	79,653	—	79,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,823	51,183	—	—	103,007	△103,007	—
計	59,326	99,866	8,714	14,753	182,660	△103,007	79,653
セグメント利益	770	5,862	327	419	7,381	△411	6,970

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△411百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。